

大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版N C A A）

創設事業（大学スポーツ振興の推進）

成果報告書

【立命館大学】

委託期間：平成30年10月4日～平成31年3月29日

平成31年3月

## I. 事業の実績の説明

### 1. 事業概要

(1) 委託事業名：平成30年度「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業」

(2) 委託期間：平成30年10月4日～平成30年3月29日

(3) 受託機関：立命館大学

### 2. スポーツ分野における統括業務の実施状況について

立命館大学は、1980年代に定めた「スポーツの大衆化と高度化の統一」の理念を継承し、スポーツ強化を含めたスポーツ振興全体を担う新たなセクションとして、1998年に「スポーツ強化センター」を設置した。本センターは、大学内の部局として位置づけられ、「スポーツと学業の両立」を通じた学生の成長を優先的な価値観とし、勝利至上主義に偏ることなく、下記の5点を大学におけるスポーツ強化の意義として確認した。設置以来、現在に至るまで学内の運動部の統括や学生アスリートの管理、スポーツ施設の運営管理、スポーツを通じた大学ブランド力の向上など、学内のスポーツ分野を一体的に統括する業務を行っている。なお、現在は立命館大学の3つのキャンパス（衣笠キャンパス（京都府）、びわこ・くさつキャンパス（滋賀県）、大阪いばらきキャンパス（大阪府））に所属する学生のスポーツ分野（体育会運動部）の課外自主活動を支援している。設置までにいたる学内政策の変遷について調査を行った内容は、表1に記載する。

#### <本学におけるスポーツ強化の意義>

- ・スポーツに参加する学生のより高度な成長の場の形成
- ・社会の発展に資する優れた人材の輩出
- ・学園関係者（学生、校友、父母）の帰属意識・愛校心の醸成
- ・スポーツを通じた地域との交流促進
- ・スポーツ分野での活躍を通じた学園の社会的な総合評価の一層の向上

なお、スポーツ強化センターを構成する職員組織として、スポーツ強化オフィスを設置しており、学内では以下の通り業務を規定している。

#### <スポーツ強化オフィスの業務> ※学校法人立命館館則施行細則より抜粋

- ・競技スポーツの強化と支援
- ・スポーツ振興に関わる調査・企画・実施
- ・スポーツ分野の課外活動の支援・指導
- ・スポーツ分野に関わる奨学金の運用
- ・スポーツ施設の管理運営

上記の業務に関わる組織の構成は次の通りとしている。

副学長（学生・キャリア担当）1名

学生部長（スポーツ振興担当）1名

学生部副部長（スポーツ振興担当）1名

学生部次長1名

スポーツ強化オフィス課長1名

専任事務職員（担当課長1名、課長補佐1名、課員3名）

事務契約職員5名

なお、2014年4月に制定した「立命館スポーツ宣言」の理念の下、スポーツ強化センターは体育会に所属する50の公認団体のマネジメントの一部を担う役割を負っている。具体には、各団体の部長（本学専任教員）・副部長（本学専任職員）・監督・指導者の任命・委嘱、重点強化クラブ（7クラブ）の中期計画（4ヵ年）および単年度計画に対しての決裁をおこなう等の機能を担っている。スポーツ強化オフィスの担う業務は次に記載する。

<スポーツ強化オフィスの業務項目>

- ・支援制度（助成金・奨学金・表彰制度等）の立案および運用
- ・体育会所属学生の学修環境の把握、学業との両立支援の取り組み
- ・安全、安心な環境づくり（ハラスメント防止や会計の基礎知識習得等を目的にセミナーを実施）
- ・競技ごとのキャリア形成環境の把握、支援の充実
- ・スポーツ選抜入試における広報活動
- ・地域や企業のニーズ把握に基づく、体育会学生と社会の接点づくり
- ・体育施設や寮等の維持管理・改善
- ・研究シーズの把握およびそれを活用したスポーツ科学によるクラブ支援
- ・体育会クラブの広報、学内外のアウトリーチ活動
- ・OB・OG 会との連携、立命館スポーツフェロー（OB・OG 会統括組織）との連携
- ・体育会クラブにおける組織マネジメントに関する助言や指導等

もともとは、体育会各部の強化を目的に設置された部局となるが、近年ではスポーツ振興に関する業務が広がりを見せている。具体的には、以下のとおり。

- ・陸上競技場公認化取得および競技場を活用した記録会の開催やロードレース実施の検討
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックに関する文化活動への学生参画促進や応援文化の醸成
- ・大学横断的・競技横断的組織の設立支援と事務局運営
- ・地域住民や一般学生への運動プログラムの提供（ヨガレッスンやピラティス、個バスなど）など

表 1. 立命館大学におけるスポーツ活動に関連する学内政策や制度、施設等の変遷

年度	政策・制度・施設等
1980年代	1983年 ・全学協議会で「総合スポーツ政策」の提案、検討 1984年 ・専任職員や契約指導者による専任トレーナー制度の開始 ・原谷尚友館・トレーニングルームの設置 1985年 ・学園基本計画要綱にて「総合スポーツ政策」が策定 1987年 ・スポーツ選抜入試開始 1989年 ・第一体育館トレーニングルーム・第二尚友館の設置
1990年代	1993年 ・顧問・部長・副部長制度開始 1994年 ・BKC 開学によるスポーツ施設（クインスタジアム・第1～第3グラウンド、BKC ジム、アスリートジムの設置）の設置 1996年 ・新総合スポーツ政策策定への提言 ・課外活動により正課授業・試験に出席できない場合の措置（授業配慮・追試験） 1997年 ・新総合スポーツ政策の提言 1998年 ・スポーツ強化センター、スポーツ強化オフィス設置
2000年代	2000年 ・課外自主活動奨励奨学金制度（個人奨励・団体助成・研修支援）開始 2001年 ・学業ガイドライン運用開始（公式試合の出場資格に取得単位数を要件とした） 2004年 ・「立命館スポーツのさらなる飛躍をめざして」の策定 2006年 ・立命館憲章の制定 2009年 ・試合等参加証明書（課外自主活動への参加に伴う授業欠席対応）の運用開始

2010年代	2012年	・重点強化クラブ（スポーツ分野、7団体の指定）
	2014年	・「正課と課外の枠（Border）を超えたスポーツ政策の展開に向けて」の策定 ・「立命館スポーツ宣言」「立命館大学アスリートの誓い」の制定 ・重点強化クラブ（スポーツ分野、ホッケー部の追加指定）
	2015年	・OIC開学によるスポーツ施設（OICフィールド、OICジム、トレーニングルームの設置）の整備
	2016年	・「2020年東京オリンピック・パラリンピックを通じた学生の育成に向けた諸施策」の策定
	2017年	・顧問・部長・副部長制度の改定（一部を業務とする等の再整理） ・第2期重点強化クラブ（スポーツ分野、7団体の指定） ・課外自主活動団体支援制度（基盤活動助・プロジェクト助成・重点強化助成）の開始、自立的な学習を支援するプログラム（SSP）開始 ・アシックスジャパンとの連携包括協定の締結 ・学業ガイドラインの改正
	2018年	・（一社）大学スポーツコンソーシアム KANSAI が設立、事務局を受託

## 2. 大学スポーツ・アドミニストレーターの配置の状況について

### （1）大学スポーツ・アドミニストレーターに雇用した者に求めた資質・能力等

スポーツ振興の事業を推進するために、以下の業務経験を有する者を前提とし、対象者の選定を行った。

<大学スポーツ・アドミニストレーターに求める業務経験>

- ・スポーツ分野のリエゾン活動展開のため、リサーチアドミニストレーターが担う産学連携、研究推進業務に関する実務経験を有する者が望ましい
- ・学業との両立支援の枠組み提案への助言のため、大学教務事務の実務経験を有する者が望ましい
- ・事業継続性の観点から、3年以上継続した雇用を保障できる者

選定の結果、以下の本学職員を大学スポーツ・アドミニストレーターとして、スポーツ強化オフィスに配置することにより、本事業の推進を担わせることとした。

<大学スポーツ・アドミニストレーター（立命館大学、以下 SA）>

立命館大学スポーツ強化オフィス 斉藤富一（さいとう とみかず）

### （2）具体的に行った業務

次項以降に示す全ての業務において、所期の目標達成のため事業推進の中心的役割を担った。

## 3. 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施状況について

### （1）大学間の連携、大学横断的組織として関西のスポーツコンソーシアムの推進

2016年度に大学スポーツ振興関西地区検討会が有志教員により発足され、大学横断的、競技横断的な取り組みを推進するために2018年4月10日に一般社団法人大学スポーツコンソーシアム KANSAI（以下、KCAA）が設立された。本学は、KCAAの事務局業務の委託を受け、以下に示す5つの事業テーマにおいて、2018年度事業計画に基づき運営を行っている。具体的な事業計画および収支計画書は別紙①に示す。

1. 大学スポーツにかかわる多様なステークホルダー間の情報共有・連携・協力を促進するプラットフォームの形成
2. 社会を牽引し、未来を託せる「人財」の育成
3. 大学スポーツの振興と発展に資するスポーツガバナンスの構築
4. 大学スポーツの社会的・事業的価値の向上
5. 応援促進プログラムの運営

特にプラットフォーム形成においては、3月29日時点で、正会員23大学、賛助会員17企業、パートナー企業5団体の加盟を受け、大学に関してはほぼ計画通りの会員を集めることができた。  
 ※2019年3月27日付 KCAA ホームページ (<https://www.kcaa-jp.org/>) 参照  
 加盟団体については、表2に示す。

表2. KCAA 加盟団体一覧 ※2019年3月29日時点

正会員	追手門学院大学、大阪電気通信大学、大阪体育大学、大阪産業大学、大阪工業大学、大阪経済大学、大阪学院大学、摂南大学、神戸学院大学、甲南大学、四天王寺大学、四国大学、阪南大学、近畿大学、関西大学、関西学院大学、園田学園女子大学、びわこ成蹊スポーツ大学、龍谷大学、武庫川女子大学、同志社大学、天理大学、立命館大学
賛助会員	アシックスジャパン株式会社、大阪ガス株式会社、株式会社学生情報センター、京屋卸株式会社、株式会社 Criacao、株式会社クレディセゾン、株式会社 JTB、株式会社サカイ引越センター、株式会社 STEAM Sports Laboratory、株式会社スポーツフィールド、セノー株式会社、株式会社電通 関西支社、びあ株式会社、株式会社報知新聞社、株式会社毎日放送、株式会社レオパレス 21、東亜道路工業株式会社
パートナー会員	大阪弁護士会、関西学生放送連盟、公益社団法人関西経済連合会、京都大学体育会、公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

また、正会員大学に関しては、SA 会議および企画委員会のもとにワーキンググループを設置、参加を促し議論へ加わっていただいている。

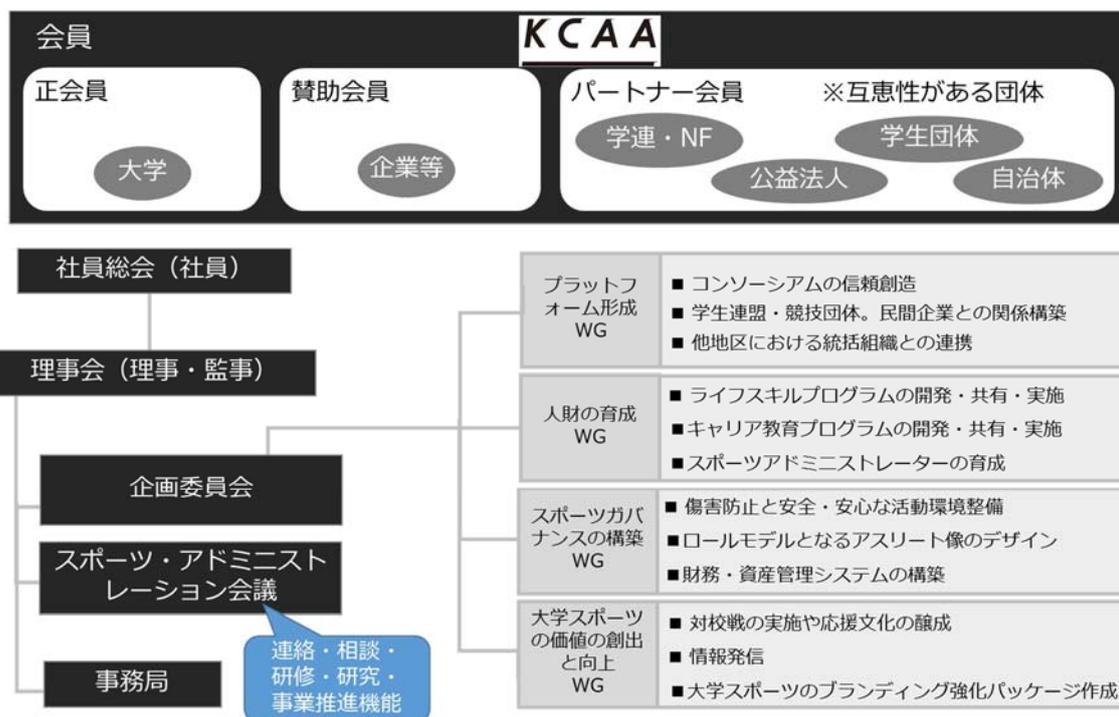


図 1.KCAA 組織図

また、応援促進プログラムでは大阪体育大学が主催となり、12/3 (月) に武庫川女子大学との対抗戦を行った (KCAA は特別協賛)。2 軍メンバーの引退試合の設定とし、インターバルには各校の教職員のフリースロー対決、地元の小学生ダンスチームの演舞、参加者のプレゼント抽選大会などが催され、有料大会 (500 円/人) にもかかわらず、500 名を超える参加者を集めた。会員大学の個別の取り組み事例ではあるが、他大学も参考としたい工夫が随所に施されており、KCAA として

もグッドプラクティスとして会員に共有をおこなった。



各チームのベンチ



大学関係者によるフリースロー対決



試合の様子



地域のキッズダンスチームによる演舞

また、2月22日（土）～23日（日）に舞洲プロジェクトおよびうめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会が主催する体験型イノベーションショーケース「Ex-CROSS（エクスクロス）」の一企画としてKCAAvs大阪エヴェッサドリームマッチが開催された。KCAAからは、4大学が参加し、多くの参加者が観戦した。



KCAA 4チームの集合写真



試合の様子

3月9日（土）に立命館大学大阪いばらきキャンパスにて、「KCAA 公開シンポジウム」を開催した。伊坂会長による挨拶の後、3つの企画を行った。当日は約170名が来場。パネルディスカッションでは、「スポーツで関西を元気に！」をテーマに行われた。学生企画で

は、6人の特色ある取り組みをすすめる学生が登壇し、「体育会の新しいつながり」をテーマに、午前中に開催された「KCAA 学生サミット」から継続して白熱した議論が交わされた。最後に KCAA の 2018 年度の成果報告および 2019 年度の事業計画骨子がそれぞれのワーキンググループより紹介された（別紙②参照）。当日は「KCAA 大学スポーツ奨励賞」表彰式も開催、出席した賛助会員やパートナー会員から、正会員大学から推薦・表彰される 15 名の学生に対し、記念楯が授与された。戦績以外も評価するといった特色のある表彰制度となることから、受賞されたマネージャーを担った学生からは、「自分がチームを支え取り組んできたことが評価されて嬉しい」と感想が話された。



会長による開会挨拶



パネルディスカッションの様子



学生サミットの様子



学生企画の様子



学生企画に参加した学生



受賞式後の記念撮影

## (2) 両立支援（プログラムの運営）

本学では、約7割の学生が多様な課外自主活動を行い、世界や全国トップレベルなど、高い水準で活動している団体が多い。その中で、①正課と課外の両立に困難を抱えている学生への支援、②クラブ・サークル等の団体の組織運営やマネジメントへの支援、の充実が課題であった。体育会の活動については、「立命館スポーツ宣言」（2014年4月）や「学生アスリートの誓い」（同2月）を制定し、スポーツを学生の成長の場とみなすとともに、「学業ガイドライン」を定め、公式戦出場のための単位基準の運用、スポーツ・文芸特別選抜入試合格者への入学前・入学後支援など、学業とスポーツの両立に努める方針を明確にしてきた。体育会学生に限らず学生一人ひとりが自分に応じた目標を設定し、最大限の「成長」を遂げられるよう学びの主体として「自立」していくための学生支援としてSSP（Student Success Program）を2017年度より実施している。2018年10月以降に実施したセミナーの一部を以下に示す。

**日々のノートまとめが楽になる！**  
**デジタルツール入門**  
 ～ OneNote を使ってみよう！～

**日時と場所** 12/6 (木) **お昼休み 12:15 - 12:50**  
**平井嘉一郎図書館 びあら**  
 講師：SSP ピア・サポーター

**OneNote**  
紙資料をすくなくしてしまう  
ノートがうまくまとめられない

自分の思考を見える化したい  
記事を保存しておきたい

どなたでも参加できます

聞いているだけでもOK!

スマホがあればOK!

そんなあなた！  
デジタルツールを使ってみませんか？

ステップアップした自分を  
目指しませんか？

**SSPピア・サポーターがお待ちしております**

---

**お問い合わせは衣笠学生オフィスまで**

SSP  
Student Success Program

SSPコーディネーター 渡邊  
TEL: 衣笠: 075-465-8174  
URL: <http://www.ritsumei.ac.jp/ssp/>  
MAIL: [ssp1@st.ritsumei.ac.jp](mailto:ssp1@st.ritsumei.ac.jp)

**2018 秋**  
**定期試験準備・対策講座！**

やる事がたくさんあるけれど、  
どこから手をつけていいかわからない...

試験のタイプ別に  
対策を立てたい！

試験情報の収集・整理法を身につけ、  
試験への不安を減らし具体的な対策を立てよう！

**各キャンパスとも**  
**12/13 (木) 12:15 ~ 12:50**

**日時と場所**

- ・衣笠 研心館KE301
- ・BKC P111
- ・OIC AS368

どなたでも参加できます

ランチ持参OK

講座終了後と別日に学部の先輩に相談できる  
ピアサポーターによる相談アワーも  
開催します。詳しくはmanaba+R、掲示板を  
CHECKしてね。

---

**SSP** お問い合わせは学生オフィスまで

SSP  
Student Success Program

学生オフィス SSPコーディネーター  
衣笠: 渡邊 BKC: 石田 OIC: 岸岡  
URL: <http://www.ritsumei.ac.jp/ssp/>  
MAIL: [ssp1@st.ritsumei.ac.jp](mailto:ssp1@st.ritsumei.ac.jp)

また、2019年度入学者約200名を対象に、大学の学びに備えるため必要な（不足している）能力を実感するとともに、将来の目標を立て、入学前また入学後に学業に自ら取り組む意欲を喚起することを目的に「プレ・エントランス立命館デー（2018年12月16日）」および「入学前合宿（2019年3月13日～14日）」を開催した。「入学前合宿」では、入学を直前に控えた学生がどのような学生生活を送り、何を獲得するかを「生活面」「正課」「課外」の3つの柱として考えることに主眼が置き、特にスポーツ分野で特に秀でた力を持つ参加者が、3つの柱を意識しながら、学生生活を組み立てることによって、何かに偏ることが無く、バランス良く力を身につけながら幅広い視野や友人関係を構築していくことを獲得目標として実施、以下詳述する。

合宿は昨年度同様、5つのワーク（以下5点）で構成されており、全てのワークをこなし、最終的に自身の夢や目標を他者に発表するという内容となる。

- ・人生の折れ線グラフ：自分を知らう
- ・セルフチェックシートを通じた自己分析

- ・入学学部について理解を深めよう
- ・先輩から学ぶ目標の設定と到達方法の検討
- ・自分の夢・目標とその到達方法の発表

なお、合宿にはファシリテーターを複数名配置し、先輩学生として、アイスブレイクやグループワークを一緒に取り組む形式となる。ファシリテーターには、体育会学生だけではなく、一般学生も複数名配置し、体育会に閉じた活動とならないように工夫を行った。

#### 【参考】SSP (Student Success Program) の概要-----

- ・自立支援
  - ー入学前支援プログラム：体育会入部予定者への入学準備プログラム
  - ー入学後支援プログラム：目標設定と目標に向けた計画づくり、時間やタスクの管理、学びの基礎スキル等の習得のためのプログラム
  - ーアセスメント&コーディネート：正課と課外に取り組む学生が自らの特性を理解し、自己認識・自己理解の上で主体的に活動を行う、支援を活用することができることを目指した支援
- ・成長支援
  - ーキャリア養成：卒業後のキャリアを見通し、大学での学びと課外自主活動の目標、課外自主活動で得た力をどのようにキャリアで活かしていくかを学ぶプログラム
  - ーリーダー養成：課外自主活動団体をけん引するリーダーに対し、リーダーシップ、マネジメント、計画策定や予算管理など、求められる知識・技能を学ぶプログラム
  - ー地域・社会貢献：学生が日常活動している競技・テーマを通じて地域・貢献活動に取り組み、社会との関わりを学ぶプログラム
  - ー国際交流：海外の大学等との交流を通して、競技力・活動水準の向上を図るとともに、異文化理解と広い視野を養うプログラム

#### (3) スポーツ活動の見える化、応援文化醸成の取り組み

選手個人のファンを増やすことを企図して以下の企画を実施した。選手個人の人となりを知ってもらうなど、学生自身が工夫し取り組めるように「大学スポーツ・文化芸術サロン」制度を立案し、以下3つのイベントが行なわれた。また本企画とは別に陸上記録会を2回開催(10月・3月)し、それぞれ211名・282名の参加があった。また、地域でボランティア活動(清掃)に取り組むAVAが、体育会のつながりを強化することを目的に体育祭を開催。約200名の学生が参加した。

##### 1) 企画コンセプト

文化芸術活動に取り組む団体が、一般学生に対して、自分たちの取り組む競技や活動の魅力や面白さをわかりやすく伝える企画。一般学生が競技や活動のルールや成り立ちを知り、今年の注目学生の意外な一面に触れることにより課外自主活動団体で活動する学生との距離を近づけるような、活動を身近に感じられる取り組みを期待。

##### 2) 企画内容

授業日・昼休み時間帯に30分程度を利用して、BKCセントラルアークのステージでプレゼンテーション等を実施。以下の3点のポイントに留意し、企画書を作成すること。(他キャンパス所属の団体も出願できます)

- ・活動に関して、応援してもらいきっかけ作りを目的とした企画とすること。
- ・活動・競技等の基本的なルールや本学団体の特色や戦績・実績等、初めて当該活動を見聞きする人にも理解できる企画内容(わかりやすい活動紹介やルール説明)とすること。
- ・活躍している部員(選手、マネージャー、他構成員)の人となりが見えるような企画内容とすること。また今年度後半期の注目の活動や試合等を紹介すること。

①第1回 大学スポーツ・文化芸術サロン（ラグビー部） 11月1日開催

開催週の公式試合の誘導を目的に開催。57名の一般学生の集客を行った。クラブからは、ラグビーのルールに加えて、ラインアウトやタックルなどの実践を披露し、初めてラグビーのプレイに触れる学生たちからは歓声が上がった。



②第2回 大学スポーツ・文化芸術サロン（サッカー部） 11月15日開催

開催週の公式試合の誘導を目的に開催。48名の一般学生の集客を行った。クラブからは、サッカーのルールに加えて、リフティングなどの実践を披露した。サッカー部は京都に活動拠点があるため、滋賀県のキャンパスに所属する学生との接点は少なく、クラブとしてもファン獲得の良い契機となった。



③第3回 大学スポーツ・文化芸術サロン（女子陸上競技部） 12月21日開催

全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）の観戦誘導を目的に開催。55名の一般学生の集客を行った。クラブからは、各種目のルール説明に加えて、距離の比較を行うことで一般学生にもわかりやすく競技の説明が行われた。

以上

No	事業名(仮称)	事業内容
◎	KCAAフォーラム、シンポジウム開催	未定
<b>1. 大学スポーツにかかわる多様なステークホルダー間の情報共有・連携・協力を促進するプラットフォームの形成</b>		
(1)	コンソーシアムの信頼創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献イベントの開催</li> <li>・平日の試合を避けるための施策検討、土日開催のための施設整備の促進の検討(学連と協力)、年間取得単位数基準を定めた競 技連盟の調査、効果検証</li> <li>・会員を集め、大学アスリートとの交流機会を設ける</li> </ul>
(2)	学生連盟・競技団体・民間企業との関係構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員募集方針検討</li> </ul>
(3)	他地区における統括組織との連携	
<b>2. 社会を牽引し、未来を託せる「人材」の育成</b>		
(1)	ライフスキルプログラムの開発・共有・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前プログラムやライフスキルプログラムの各大学事例の共有、成果と課題も。他の多くの大学が参考とできるプログラムを提案</li> <li>・海外遠征等のハイパフォーマンス層の共通eラーニング・プラットフォーム構築の検討</li> <li>・学業と競技の両立のための指導者向けセミナーの開催</li> </ul>
(2)	キャリア教育プログラムの開発・共有・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムマネジメント手帳の開発、リーダーシップ開発プログラムの提供など、共通テキストの開発</li> </ul>
(3)	スポーツアドミニストレーター育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策文書の作成や調査研究の支援等</li> </ul>
<b>3. 大学スポーツの振興と発展に資するスポーツガバナンスの構築</b>		
(1)	傷害防止と安全・安心な活動環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急対応に関するガイドブック・ハンドブックの作成・配布</li> <li>・スポーツ保険の加入状況の調査および怪我によるトラブル事例の研究</li> <li>・各大学の取り組み把握、優先順位付け、連盟と連携</li> </ul>
(2)	ロールモデルとなるアスリート像のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスに関する教育支援</li> </ul>
(3)	財務・資産管理システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透明化に向けた指導およびガイドラインの制定</li> </ul>
<b>4. 大学スポーツの社会的・事業的価値の向上</b>		
(1)	対校戦の実施や応援文化の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6試合の対校戦応援促進プログラムのトライアル開催(参加無料)を実施する。事前に競技種目(競技人口)、競技会場へのアクセス利便性、事前告知のメニュー、飲食の有無、開催時間帯、地域向け企画との合同、子ども向けイベントの実施有無等の条件を設定、結果に基づきリーグ戦への影響も分析の上、「アマチュア・スポーツの集客の仕組み」を研究する。また、6試合それぞれの競技団体に対し連携・情報提供を行う</li> </ul>
(2)	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学連等との連携のもと、権利関係の課題を調査・研究する。その上で、インターネット放送の自主運営の検討やKCAAの動画作成等に取り組む</li> <li>・指導者を育む文化の醸成、指導方針や体制の透明化促進支援による価値向上</li> </ul>
(3)	大学スポーツのブランディング強化パッケージ作成	
<b>5. 応援促進プログラムの運営</b>		
(1)	応援促進プログラムの運営	応援促進プログラムの企画立案および実行

KCAA

Kansai Collegiate Athletic Alliance

## KCAA公開シンポジウム

KCAA(一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAIの略称)は2018年4月に設立し、現在23の正会員(大学)、15の賛助会員(企業)、4つのパートナー会員により構成されています。大学と競技団体・企業をつなぐプラットフォームの形成や人財育成、スポーツガバナンス、大学スポーツの価値向上などをテーマとし、大学スポーツによる関西地域の活性化を目指しています。

今回は設立1周年を迎えるにあたり、初年度の活動成果に加え、識者による大学スポーツへの期待やスポーツ振興に取り組む学生たちの取り組みをご紹介します。

2019.03.09 土曜日  
13:00—17:00 (開場12:30)

参加費 無料 (事前申し込み制 先着順)  
※定員150名

会場 立命館いばらきフューチャープラザ  
3階 コロキウム 立命館大学  
大阪いばらきキャンパス B棟

アクセス ●JR「茨木駅」より徒歩5分  
●阪急「南茨木駅」より徒歩10分  
●大阪モノレール「宇野辺駅」より徒歩7分

総合司会 畑山里彩(関西学生放送連盟所属 同志社大学同志社学生放送局)

## 1 パネルディスカッション 「スポーツで関西を元気に！」

- パネラー ●小林義彦(公益社団法人 関西経済連合会地域連携部 担当部長)  
●中塚則男(公益財団法人 ワールドマスターズゲームズ2021関西 組織委員会 事務局長)  
●松田基子(全日本柔道連盟 女子柔道振興委員会 委員長)  
●伊坂忠夫(KCAA 代表理事 | 立命館大学 副学長)

ファシリテーター 藤本淳也(KCAA 副会長 | 大阪体育大学 教授)

## 2 学生からの事例報告 「学生が語る大学スポーツの現状と希望 — 関西から始まる新しいつながりに向けて —」

- 大学スポーツにかかわる学生団体

担当 上田滋夢(KCAA 理事 | 追手門学院大学 教授) ファシリテーター 峰尾恵人(京都大学院生)

## 3 KCAA 2018年度成果報告および次年度事業計画

- 藤林真美(KCAA プラットフォーム形成ワーキンググループ 座長 | 摂南大学 准教授)  
●松永敬子(KCAA 人財育成ワーキンググループ 座長 | 龍谷大学 教授)  
●灘英世(KCAA ガバナンス構築ワーキンググループ 座長 | 関西大学 准教授)  
●上田滋夢(KCAA 価値向上ワーキンググループ 座長 | 追手門学院大学 教授)

## 4 (合同開催)KCAA大学スポーツ奨励賞受賞式

主催 一般社団法人 大学スポーツコンソーシアムKANSAI  
協力 関西学生放送連盟

参加申込

参加ご希望の方は下記URLよりお申し込みください。  
<http://bit.ly/kcaa190309>



KCAA

Kansai Collegiate Athletic Alliance



## 20190309「学生サミット」企画書

### 企画名

「大学スポーツの現状と希望—関西から始まる学生による新しいつながりに向けて—」

### 趣旨

「大学スポーツ協会 (UNIVAS)」の設立が目前に迫り、「安心安全」「学業充実」を通じた競技環境の整備を軸とする大学スポーツの全国的な改革がいよいよ始まろうとしている。一方、UNIVAS に先んじて始動した大学スポーツコンソーシアム KANSAI (KCAA) では、学生の競技環境の整備はもちろん、学生自身が自発的、主体的に「する・みる・ささえる・つくる」といった活動に参加し、そこから学びを得て成長するとともに、大学スポーツが学生の力で盛り上がっていくというビジョンに基づく活動も行ってきた。

今後、大学スポーツが社会とのつながりを強めながら盛り上がっていくためには、「する」(競技者)と「みる」(観戦者・サポーター)をつなげる「ささえる」学生の存在が不可欠である。また、「ささえる」という形でスポーツに関わることは、スポーツ基本法に記された国民の権利の一つでもある。しかし、「ささえる」側の学生にスポットが当てられることはこれまで少なかったし、「ささえる」学生にはいわゆる学連のような横断組織がなく、思いや悩みを共有する場は限定的であった。

本企画では、UNIVAS の設立を目前に、そして KCAA の設立 1 周年というタイミングで、全国から大学スポーツに関わる学生を募り、大学スポーツを「ささえる」ことにスポットを当ててその意義や課題、未来について意見を共有しあう場にすると共に、大学スポーツに主体的に関わる学生のネットワークづくりの第一歩としたい。

**日時：**2019年3月9日 10:00-12:00 (120分、KCAA シンポジウムの前の時間帯)

その後昼食交流会、13時から KCAA シンポジウムを参観、引き続き 17 時からのネットワーク交流会に参加可能。

**場所：**立命館大学大阪いばらきキャンパス

**参加資格：**大学スポーツに関わる学生であること (特に、体育会本部員など大学スポーツを「ささえる」学生)

**参加費：**無料

**責任者：**上田滋夢 (KCAA 理事/価値向上 WG 座長、追手門学院大学教授)

**ファシリテーター：**峰尾恵人 (京都大学体育会本部 OB/博士課程大学院生)

### プログラム (予定)

1. KCAA の紹介
2. 趣旨説明
3. 話題提供
4. 全体ディスカッション
5. クロージング

## プラットフォーム形成WG

### 2018年度事業報告概要および 2019年度事業計画骨子



2019年3月9日

1

#### Agenda

---

1. ワーキンググループの概要
2. ワーキンググループのメンバー紹介
3. 2018年度事業報告概要
4. 2019年度事業計画骨子
5. その他



2

## 1. ワーキンググループの概要

大学スポーツにかかわる多様なステークホルダー間の情報共有・連携・協力を促進し、プラットフォームの形成を目的とする

**KCAA**

3

## 2. ワーキンググループのメンバー紹介

- |               |       |
|---------------|-------|
| ● 大阪工業大学      | 谷口 正仁 |
| ● 近畿大学        | 鹿田 昌司 |
| ● 神戸学院大学      | 齊藤 氏寛 |
| ● 四国大学        | 大野 宏之 |
| ● 摂南大学        | 藤林 真美 |
| ● 阪南大学        | 加藤 清孝 |
| ● びわこ成蹊スポーツ大学 | 荒木 初廣 |

(五十音順)

4

### 3. 2018年度事業報告概要

- 2018. 5.26. 日本大学アメフトタックル問題に関する声明文発表
- 2018. 6. 8. アクティブ・フォー・オール拠点×スポーツハブ  
KANSAI合同シンポジウム  
KCAA取組紹介・鼎談をHPにアップ
- 2018.11.15. sportecwest2018 講演  
伊坂会長、花内理事登壇
- 2018.11.19. 応援促進プログラム @武庫川女子大学  
女子バスケットボール
- 2018.12. 3. 応援促進プログラム @大阪体育大学  
女子バスケットボール



5

### 4. 2019年度事業計画骨子

- アスリートサポートプログラム（人材育成WGと共同企画）  
年に3～4回 勉強会の開催  
第1回「女子アスリートの月経とパフォーマンス」
- 企業との連携  
賛助会員の企業様と、学生が成長できるプログラム実施  
例：noby T&F クラブ
- 正会員・賛助会員・パートナー会員募集（継続）



6

## 5. その他

---

### ◆ ワーキンググループの開催実績

第1回 2018.6.25 @龍谷大学深草キャンパス

- ・目標、実施計画について検討

第2回 2018.7.23 @大阪工業大学梅田キャンパス

- ・KCAA独自の保険制度など  
企業との提携について検討

第3回 2018.9.22 @立命館大学大阪いばらきキャンパス

- ・企業との提携・交流について検討

7

## 人財育成ワーキング

2018年度事業報告概要および  
2019年度事業計画骨子

# K C A A

2019年3月9日

1

### Agenda

---

1. 人財育成ワーキンググループの役割
2. 人財育成ワーキンググループのメンバー紹介
3. 2018年度事業報告概要
4. 2019年度事業計画骨子

2

## 1. 人財育成ワーキンググループの役割

---

- ライフスキルプログラムの開発・共有・実施
- キャリア教育プログラムの開発・共有・実施
- スポーツアドミニストレーター(SA)の育成

3

## 2. 人財育成ワーキンググループのメンバー紹介

---

大阪経済大学  
大阪産業大学  
大阪体育大学  
大阪電気通信大学  
追手門学院大学  
天理大学  
同志社大学  
龍谷大学

4

### 3. 2018年度事業報告概要

**2018年度の事業目標：各大学の人財育成関連の取り組み実態を把握し、理解を深める。**

- (1) ライフスキルプログラム関連の加盟大学実施状況と先進事例の情報収集
  - ① 龍谷大学スポーツ・文化活動強化センター「ライフスキルプログラム」の視察  
重点・強化サークル1年生を対象に毎月末月曜日6講時（90分）に実施するプログラム  
2018年6月25（月）18：25～19：05 @龍谷大学深草キャンパス 【SA会議】
- (2) スポーツアドミニストレーター（SA）の加盟大学設置状況と先進事例の情報収集
  - ① 「スポーツ・アドミニストレーター（SA）について理解を深める研修会」の開催  
大阪体育大学SA・武庫川女子大学SA・立命館大学SA・龍谷大学担当課長による情報提供  
2019年1月29日（火）15：00～17：00 @立命館大学大阪梅田キャンパス 【SA会議】
- (3) 諸外国の先進事例の情報収集
  - ① 学習会の開催  
「アメリカにおける大学アスリートへの学習支援及び指導者育成の現状」  
講師：山梨学院大学 現代ビジネス学部 カレッジスポーツセンター推進員 長倉富貴氏  
2018年9月22日（土）12：30～14：00 @立命館大学大阪いばらきキャンパス 【SA会議】

5

### 4. 2019年度事業計画骨子

**2019年度の事業計画：人財育成関連の取り組み実態を把握し、プログラム開発に着手する。**

- (1) キャリア教育プログラム関連の加盟大学実施状況と先進事例の情報収集
- (2) ライフスキルプログラム関連の加盟大学実施状況と先進事例の情報収集と  
プログラム案の作成
  - ① 入学前教育プログラム関連
  - ② ライフスキルプログラム関連（学生向け・指導者向け）
- (3) 正課・課外の両立に向けた基準等の情報収集（公式戦・海外遠征等取り扱い、学業基準等）
- (4) スポーツアドミニストレーター（SA）関連の研修会の開催
  - ① SA設置大学とSA未設置大学の現状と課題

上記（1）～（4）については必要に応じて、一般社団法人大学スポーツ協会UNIVASの動向を確認しつつ、進めていくこととする。

6

## ガバナンス構築ワーキング

2018年度事業報告概要および  
2019年度事業計画骨子

# KCAA

2019年3月9日

1

### Agenda

ガバナンス構築WG

1. ワーキンググループのメンバー紹介
2. 2018年度事業報告概要
3. 2019年度事業計画骨子
4. その他

2

## 1. ワーキンググループのメンバー紹介 ガバナンス構築WG

### ガバナンス構築WG:6名

座長：灘 英世	【関西大学】
稲葉 慎太郎	【天理大学】
辻 和久	【大阪学院大学】
富田 英司	【大阪弁護士会】
中西 智子	【園田学園女子大学】
中村 圭吾	【甲南大学】

3

## 2. 2018年度事業報告概要 ガバナンス構築WG

### 傷害防止と安全・安心に関する

#### 研修会に関する実態アンケート調査

体育会学生対象

実施大学:16大学

4

## 2. 2018年度事業報告概要

ガバナンス構築WG

**危機管理についての講習・研修会**

傷害予防

応急処置

AED講習会

熱中症予防

水上安全法

飲酒喫煙

薬物防止

**担当者**

日本赤十字社

消防署

警察署

大学教員、職員

保健センター職員

5

## 2. 2018年度事業報告概要

ガバナンス構築WG

**リーダーとしての心構え****ハラスメント防止**

学生センター所属の臨床心理士

**SNSの利用における注意喚起**

大学職員

**体罰・暴力根絶のための講演会**

外部講師(弁護士)

6

## 2. 2018年度事業報告概要

ガバナンス構築WG

### トレーニング・栄養についての講習会

トレーニング・リハビリルームの効率的な使用法  
(使用マナー、パフォーマンス向上)

#### 栄養講習会

栄養管理士による栄養指導

7

## 2. 2018年度事業報告概要

ガバナンス構築WG

### 傷害防止と安全・安心に関する

研修会に関する実態アンケート調査

指導者: 部長(顧問)、監督・コーチ対象

実施大学: 7大学

8

## 2. 2018年度事業報告概要

ガバナンス構築WG

### \* 活動環境の安全・安心に関する研修会

熱中症対策、AEDの使用方法、脳震盪

### \* 指導を行う上での危機管理対応

ハラスメント、暴力行為、

事故発生時における賠償責任問題

部員の接し方、メンタル面の指導知識習得

「スポーツ指導と精神・発達障害」

9

## 2. 2018年度事業報告概要

ガバナンス構築WG

### 「コンプライアンス研修会」

講師：富田 英司 氏

大阪弁護士会・弁護士

10

## 2. 2018年度事業報告概要

ガバナンス構築WG

KCAAは、大学スポーツを取り巻く課題を一つの意義とする大学間のネットワーク型連合組織で、スポーツガバナンス構築を主要事業としています。

この事業の一環として、将来的には大学スポーツにおけるコンプライアンスの組織・規程の整備についてのガイドラインや、大学横断的なコンプライアンスカリキュラムの制定を目指している。

11

## 3. 2019年度事業計画骨子

ガバナンス構築WG

大学スポーツにおけるコンプライアンスの組織・規程の整備についてのガイドラインや、大学横断的なコンプライアンスカリキュラムの制定を視野に入れた取り組み。

12

# 価値向上ワーキング

2018年度事業報告概要および  
2019年度事業計画骨子

# K C A A

2019年3月9日

座長：上田滋夢（理事・追手門学院大学）

## Agenda

---

1. ワーキンググループのメンバー紹介
2. 2018年度事業報告概要
3. 2019年度事業計画骨子
4. その他

## 1.ワーキンググループメンバー紹介

---

### 大学スポーツの社会的・事業的価値の向上(応援文化醸成、情報発信等)

1. 四天王寺大学  
主担当：岡田 大氏 (学生支援課)
2. 関西学院大学  
主担当：堀口直親氏 (学生活動支援機構事務部/スポーツ・文化課担当)
3. 武庫川女子大学  
主担当：三好雅之氏 (学生部学生課スポーツセンター)
4. 立命館大学  
主担当：斉藤富一氏 (スポーツ強化オフィス)
5. 四国大学  
主担当：今出知佐氏 (大学広報戦略室)
6. 追手門学院大学  
主担当：山本憲吾氏 (学生支援部学生支援課)

## 2. 2018年度事業報告概要

---

- 【全体】 20180526 日本大学アメフトタックル問題に関する声明文発表  
20180608 アクティブ・フォー・オール拠点 ×スポーツハブ KANSAI  
合同シンポジウム「KCAAの取り組み紹介・鼎談」  
\*文字起こし内容をHPにアップ
- 20181119 幸野理事企画・応援促進プログラム@武庫川女子(女子バスケット)  
20181203 藤本理事企画・応援促進プログラム@大阪体育大学(女子バスケット)  
20190222 大阪商工会議所イベント「Ex-CROSS(エクスクロス)」  
KCAAドリームマッチ開催【写真あり】
- 20190309 KCAA公開シンポジウムの開催  
20190309 KCAA大学スポーツ奨励賞の実施  
20190309 ハラスメント研修
- 【SA会議+WG】  
20180625 龍谷大学のライフスキルプログラム見学  
20180922 「アメリカにおける大学アスリートへの学習支援及び指導者  
育成の現状」 山梨学院大学 長倉先生講演  
20190129 SAについて理解を深める研修会  
20190309 アリーナ協議会からの受託事業「大学スポーツ振興ネットワーク  
化検討事業」 成果発表「学生サミット」開催

### 3. 2019年度事業計画骨子

---

主事業「大学スポーツ振興ネットワーク化検討事業」の推進  
(一般社団法人アリーナ協議会様からの受託事業)

1. 学生支援団体（体育会本部等のネットワーク化
2. 大学・競技を横断した指導者のネットワーク化
3. 大学研究者と現場指導者を結ぶネットワーク化
4. その他の価値向上に関わる事業

### 4. その他

---

アリーナ協議会からの受託事業「大学スポーツ振興ネットワーク化検討事業」  
「学生サミット」のご報告

大学スポーツの主体の一つとして学生の存在がある。その学生を支援する団体として体育会本部、近年では自主的な学生支援団体、各大学のゼミなどがあげられる。これらの支援団体を大学・競技横断的にネットワーク化することを目的とする。

**「学生のつながりから関西の大学スポーツを元気に！日本を元気に！」**

2019年3月9日 10:00-12:00 @立命館大学大阪いばらきキャンパス

**参加者**

**16団体 32名**

## 4. その他

---

アリーナ協議会からの受託事業「大学スポーツ振興ネットワーク化検討事業」  
「学生サミット」のご報告

2019年3月9日 10:00-12:00 @立命館大学大阪いばらきキャンパス

1. 追手門学院大学 学友会「追風」
2. 大阪学院大学 体育会アメリカンフットボール部
3. 大阪体育大学 チアリーディング部
4. 大阪体育大学 体育会アメリカンフットボール部
5. 大阪大学 体育会本部、
6. 関西学院大学 体育会本部
7. 京都大学 アイスホッケー部
8. 京都大学 体育会本部
9. 京都大学大学院 体育会OB・OG会連合
10. 甲南大学 体育会本部
11. 神戸学院大学 体育会本部
12. 神戸大学 体育会本部

## 4. その他

---

アリーナ協議会からの受託事業「大学スポーツ振興ネットワーク化検討事業」  
「学生サミット」のご報告

事業報告

2019年3月9日 10:00-12:00 @立命館大学大阪いばらきキャンパス

13. 四天王寺大学 体育会本部
14. 東京大学 運動会総務部、
15. 同志社大学 同志社学生放送局
16. 同志社大学 体育会本部
17. 阪南大学 サッカー部
18. 北海道大学 札幌六満員Project
19. 立命館大学 AVA
20. 立命館大学 学友会
21. 龍谷大学 学友会体育局本部
22. 龍谷大学 スポーツマネジメント研究室松永ゼミ

(五十音順) 以上が本日参加団体

4. その他（KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30）@OIC

---



4. その他（KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30）@OIC

---



4. その他 (KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30) @OIC



4. その他 (KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30) @OIC



4. その他 (KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30) @OIC

---



4. その他 (KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30) @OIC

---



4. その他 (KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30) @OIC



4. その他 (KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30) @OIC



#### 4. その他 (KCAA学生サミットの様子 3/9 10:00-12:30) @OIC



# 2018年度 KCAA大学スポーツ奨励賞

## KCAA 大学スポーツ奨励賞とは

---

本制度は、各大学の大学スポーツ活動のモデルと成りうる実績を有する個人活動実績を顕彰し、今後の活躍を奨励することを目的としています。

### 1. 採用人数

最大23名

### 2. 表彰内容

採用者は、授賞式にご招待するとともに、表彰状と記念楯を贈呈します。

### 3. 応募資格

以下すべてを満たす者。

- (1) KCAA 正会員校に在学する学生であること
- (2) 学内外の諸団体に所属し、スポーツ活動を行っていること
- (3) 社員および推薦者の活動を良く知る者1名以上から推薦を受けること。

なお、学生アスリート、主務、指導者等の別は問わない。また団体は対象としない。

### 4. 対象となる活動期間

正会員校に在学中の期間とする。

### 5. 提出書類

- (1) 応募書類への記載内容
- (2) 競技実績、活動実績

### 6. 選考方法

選考基準をもとに書類選考を行い、採用者を決定します。

### 7. 結果の通知・表彰式

<結果の通知>

日時：2019年2月8日（金）

方法：メールにて通知

<結果の発表・表彰式>

日程：2019年3月9日（土）開催予定 於：立命館大学大阪いばらきキャンパス

※表彰式に関する正式な開催日時、式場等の詳細は後日連絡いたします。

### 8. その他の条件

採用された学生が退学した時、虚偽の記載等の不正の事実が判明した時、懲戒等を受けた時の場合は、受賞を取り消すことがあります。

## 9. 申請期間

2018年12月5日(水)～2019年1月18日(金)

## 10. 申請書類

以下の書類をメールにて提出してください。

- (1) 推薦書(様式①)
- (2) 推薦書(様式②)
- (3) 活動内容・実績を補足する資料(任意様式)

## 11. 書類の提出先

KCAA 事務局 : kcaajimu@kcaa-jp.org

## 12. スケジュール

申請期間 : 2018年12月5日(水)～2019年 1月18日(金)

採用通知 : 2019年 2月8日(金)

採用発表・表彰式 : 2019年 3月9日(土) 立命館大学大阪いばらきキャンパス

## 13. 問い合わせ先

KCAA 事務局 077-561-5734

※窓口 : 月～金 9:30 ～ 17:00 (土・日・祝日は休み)

以 上